

治水・利水計画

現在、昭和48年策定の「荒川水系工事实施基本計画」に基づき、200年に1度の大きな洪水に備えるため、岩淵地点で基本高水流量14,800m<sup>3</sup>/secを上流のダム群及び調節池で貯留し、7,000m<sup>3</sup>/secを流下させる計画となっている。

しかし、現時点で治水施設の整備状況は、建設中の滝沢ダム（平成19年度完成予定）を除けば第一調整池が平成15年度に完成するのみであり、整備の推進が急務となっている。

現在の治水整備状況

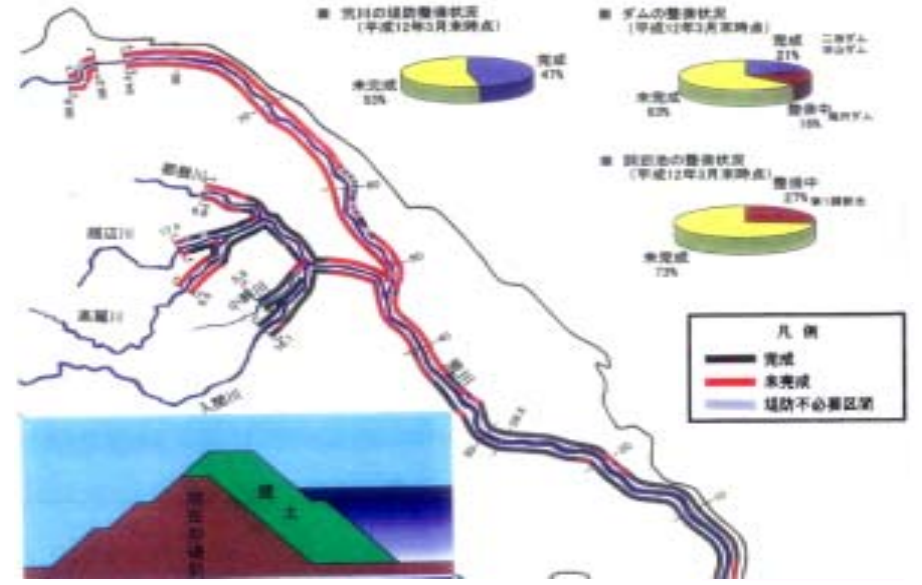


図-7 治水整備状況図

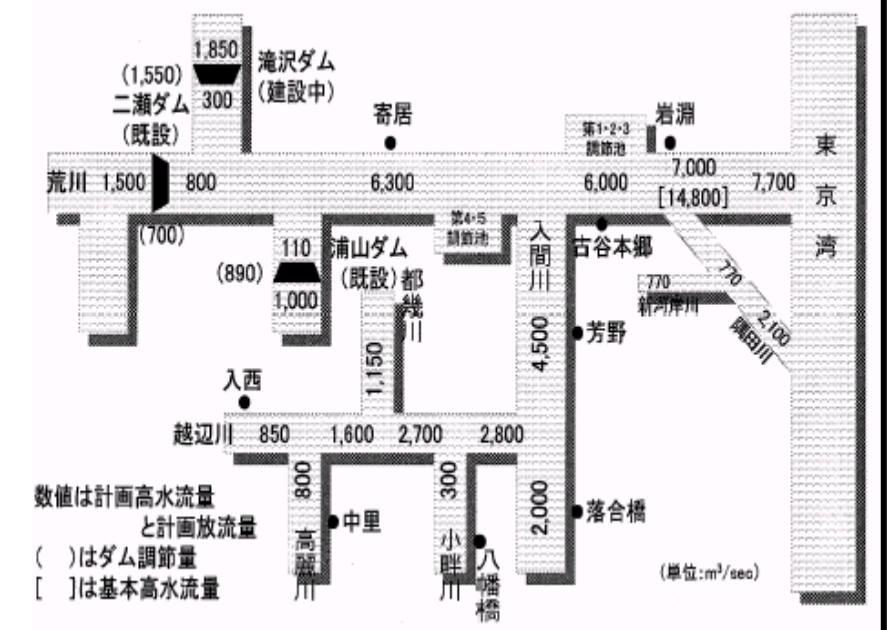


図-8 計画洪水流量の分配図  
上記の3ダム以外にもダム群が必要として計画されている。

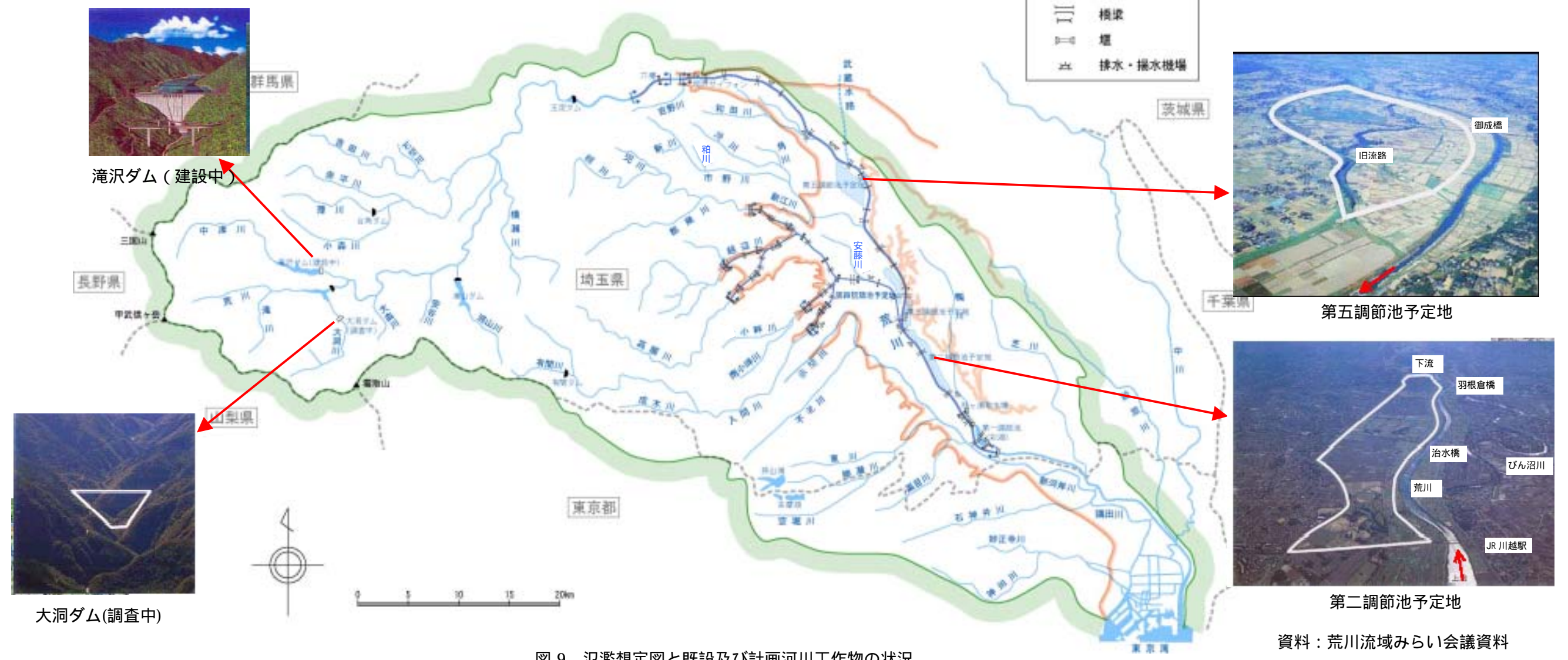


図-9 氾濫想定図と既設及び計画河川工作物の状況

資料：荒川流域みらい会議資料